

## 新年を迎えて

高岡教区教務所長 森尾淳章

慈光照護のもと皆さまにおかれましては、つつがなく新春をお迎えのことと慶賀に存じあげます。

また平素より教区の宗務推進に一方ならぬご理解とご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

十二月一日をもって高岡教区教務所長、福光教堂主管理を拝命してから早一年が経ったこととあります。その間新型コロナウイルス感染症の拡大により、教区の方々の行事が中止または縮小せざるを得ない状況となりました。教務所長・主管として奉職させていただいた一年目に想定外の様相を呈し、戸惑うこともありましたが、教区の皆さまのご理解・ご協力を賜りながら、教区の宗務を務めさせていただくことができましたこと、厚く御礼申し上げます。

宗門においては二〇二三年三月から五期三十日間営まれる親鸞聖人ご誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年慶讃法要について、教区・組における法要行事は二〇二四年十二月までに実施すること、団体参拝は原則として「組」又は「寺院」を中心に編成することなど法要行事及び団体参拝の基本要綱が示されました。今後、教区法要委員会を開催し、具体的な内容について検討し、法要に向けて機運を高めてまいりたいと思います。

新型コロナウイルス感染症の影響、あるいは「新しい生活様式」の影響は人との濃厚なつながりが基本である寺院活動の本質的・根本的な部分を強制的に成り

立たせなくしていることであります。こうした「つながり」をいかに補っていかかという新たな課題も生じており、従前より教区内の課題となっている事項に加えて、総合的な検討が必要であると感じます。このコロナ禍において人々が不安を抱え、それが差別へとつながるといふ人間の弱さ・愚かさが顕在化している中であるからこそ、なお一層教区が一丸となって「自他ともに心豊かに生きることのできる社会の実現に貢献」できるよう皆さまにはご指導ご鞭撻をお願い申しあげ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

## ◇寺族青年会実践運動研修会開催

去る十二月十

九日、西本願寺高岡会館において、

高岡教区寺族青年会(鸞翔会)の実践運動研修会が「支え合う人間関係とは？老病死の現実に向きあう？」を研修テーマとして開催されました。

ご講師には元南砺市市民病院院長の南真司氏をお迎えし、南砺市における地域包括ケアシステム



(まちぐるみで支え合う仕組み)を紹介されつつ、共生社会の中で僧侶に期待するることについてお話いただきました。

支え合いの社会では、誰もが役割を担っています。「老病死」の真っ只中であつたとしても、支え合いの中で一人一人が役割を感じ、それを居場所として受け止めることができる社会が、本当の意味で安心して生ききっていくことができる幸せな社会です。

医療や介護だけでなく、僧侶にもきつと役割はあるわけですが、まずは相手のことを知ることがとても大切であると確認されました。

私たちは僧侶だからこそ何かを伝えたいと躍起になってしまいます。ですがそれは、こちらの都合優先で、相手のことを本当の意味で見えていない手前勝手な向き合い方につながりがちです。大切なことは、一人の人間として素直に相手の声を聞き、その人の人生の物語を知っていくこと。傾聴の姿勢から信頼関係は養われ、その上での僧侶のアプローチこそ現場において必要なのだと激励いただきました。

また来月十九日には、鸞翔会が浄土真宗青年僧侶連絡協議会全国大会(テーマ「Living/Dying」)生まれ往くのちに)を主催させていただきます。コロナ禍と重なり活動も非常に制限されている中ではありますが、オンラインでの開催に向け準備を進め



ているところでした。多くの方々のお力添え、本当にありがとうございます。教区内寺院の寺族青年の皆さんにおかれましても、ぜひ全国の若い仲間たちの輪に入ってみませんか?お問い合わせは、教務所寺青担当の富永まで。

高岡教区寺族青年会

### ◇退職について

高島敬子

わたくし、高島は、昨年十二月末日をもちまして、高岡教区教務所を退職いたしました。

長い勤務の中で、仏教に携わる仕事を通して、自分の仏教・仕事に対する未熟さを感じました。

仕事に携わる中で、いろいろなお話を聞き、自分なりに理解をし、心を癒され、また、人とかかわりの大切さ、思いやりも知ることでした。

よい環境に恵まれて、仕事ができたことに感謝し、お礼申し上げます。

本当にありがとうございます。

### ★新入職員について

昨年十二月一日付、北鹿渡伊津子(きたかどいつこ)さんに、教務所職員として勤務いただくことになりました。北鹿渡さんは、氷見東組長福寺の門徒であります。

退職した高島の後任で、受付を中心に教務所の事務を担当いただきます。

まだ不慣れでご迷惑をおかけすることもあるかと存じますが、ご指導・ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

## ◇御同朋の社会をめざす運動のコーナー

「願わくは・・・」

新型コロナウイルス感染症への対応に明け暮れた一年が終わり、皆さまはどのような新年を迎えておられるでしょうか。

この年末年始は新型コロナウイルス感染症がこれまでにないほどの感染拡大を見せており、再び緊急事態宣言が発令されることとなりました。

新型コロナウイルスがもたらす問題は、感染力が強く、高齢者や基礎疾患を持つている方ほど重篤化しやすく死に至る危険性があるという感染症としての問題だけでなく、感染した方やその家族、治療にあたる医療関係者に対する排除と差別という深刻な人権問題としての一面を持っています。人々が互いに相手の動向を見張るかのような相互不信と相互監視が蔓延し、感染のリスクの有無にかかわらず、人の目を気にして行動しなければならず、批判されることを恐れて行事や集まりを開催することに二の足を踏むという状況が続きました。そのため行事開催の基準は政府や行政の基準ではなく周りが同様の行事を再開しているかどうかということになっていったような感があります。それだけ感染を疑われただけで、明確な不利益を受けるという「コロナ差別」ともいうべき差別の厳しさと、周囲と歩調を合わせなければならぬという同調圧力の恐ろしさを誰もが実感していたということでしょう。その中で過ごした一年であったように思えます。

このように病气そのものの苦しみだけでなく人と人が生み出す苦しみが大きいということがこの新型コロナウイルス問題の特徴といえましょう。感染した人に問題の所在と責任を求める「自己責任論」はこれ以上ない圧力として人々の心を押しつぶしています。病气そのものだけでなく周囲の心ない言動に苦しまなければならぬ状況では、安心して検査や治療を受けたりすることはできず、検査をためらい、さらなる被害が拡大することも予想されます。

私たちに病气そのものをどうこうすることはできませんが、人と人が作り出している苦しみの悪循環は私たちの手で変えていけるはず。そのような苦しみの悪循環からの解放（解脱）こそが仏教のテーマであったと受け止めています。

「感染を拡げている」として感染した方の家の所在地を突き止め、嫌がらせをしたり、県外ナンバーの車に傷をつけたり、営業を続ける店舗に対し抗議の張り紙や通報をするという「自粛警察」とも呼ばれる行為はこの富山県でも横行し、問題となりました。これらの行動は必ずしも反社会的な傾向のある人物によって行われているわけではなく、また、「自分は正しいことをしている」と罪の意識がないことが特徴であるように思います。まさに親鸞聖人が「無明煩惱われらが身にみちみちて」と述べられたように、自分で自分のしていることが見えない（無明）ゆえに人間は単純なことの善し悪しすら簡単に見失ってしまうということでしょう。だからこそ私たちは自分の理性や知性ではなく、「教え」を依りどころとしていく必要があるのではないのでしょうか。仏教は不要不急のものなどではなく、このような状況だからこそ絶対に必要なのだと私は思います。

会議や諸行事を再開するようになって、意外だったのは委員会などの会合の出席率が以前よりも全体的に良くなったことと、会議終了後も名残惜し気に和気あいあいと皆で話をしていました。人間というものは損得や利害関係やしがらみだけでつきあいをしているのではなく、人と人とのつながりを求める生き物だということでしょう。

残念ながら今年も昨年同様かそれ以上に厳しい状況が続くことになる予想されています。だからこそ私たちはお念仏の教えをよりどころとし、監視やしがらみや圧迫などではなく、互いに気遣い、支え、尊重し合う、御同朋といえるような人と人とのつながりができるような一年でありたいと願ってやみません。

◇これからの日程（1/14～2/27）◇

1月	教区・財団行事	教化団体・組行事
14	常例法座 ※14, 15, 16日は御正忌報恩講のため 教務所事務は休業いたします。	
18		仏婦執行部会
20		総代会組担当者会議
21		同朋養成研修会
22		門徒推進員世話役会
26	常任委員会	
27	教区法要委員会 団参会議（組長会）	
28		連研担当者会議（web） 布教団実践運動研修会
30		ビハーラ全国集会（web）
2月		
9		第35回部落解放基礎講座（web）
10		仏婦組織委員会
14	常例法座	
24		ビハーラ研修会
27		仏婦真宗入門講座（予定）

▼告知▼

『第1回ビハーラ研修会』

日時2021年2月24日（水）午後1時30分～

テーマ：「感染症と差別」

講師：栗山宣雄さん

（川上組本福寺住職）

会場：西本願寺高岡会館礼拝堂

講演と対談形式による意見交換会を開催！

チラシは来月号の教区報に同封いたします。

ラジオ放送～西本願寺の時間～

『みほとけとともに』

北日本放送（KNB）・738kHz.

◎毎週土曜日（本 山 制 作）午前5:35～5:45

□第2・4日曜日（富山・高岡制作）午前6:00～6:10

◎1/23（土）：野瀬 妙恵氏

（滋賀県清徳寺衆徒）

「布教専従員として」

□1/24（日）：未 定

（富山教区）

◎1/30（土）：野瀬 妙恵氏

（滋賀県清徳寺衆徒）

「ひらがなで話す」

◎2/6（土）：本多 昌道氏

（滋賀教区蒲生下組願證寺住職）

「仏さんのみやげ」

◎2/13（土）：本多 昌道氏

（滋賀教区蒲生下組願證寺住職）

「阿弥陀さまのおはたらき」

□2/14（日）：未 定

（高岡教区）

◎2/20（土）：本多 昌道氏

（滋賀教区蒲生下組願證寺住職）

「得度習礼所の指導員でした」

【西本願寺高岡会館2月の常例法座】

ご講師：岡 西 法 英 氏

（高岡教区五位組教願寺）

ご講題：『 仏 の 方 よ り 』

午後1時20分頃からビデオ上映、2時からお正信偈六首引のお勤めです。どうぞお誘いあわせてお参りください。